

令和7年2月末現在の安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

本資料は、安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が千葉県内において業務中又は通勤中の運転により起こした人身事故を分析したものです。

注1：物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。

注2：安管事業所の従業員が起こした事故であっても、買物やレジャーなどプライベートな業務中の事故の数値は含まれていません。

注3：他県の安管事業所の従業員が千葉県内で起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

注4 本文と各グラフの構成率（％）は表記以外の数値を四捨五入しているため、各構成率の和が100％にならない場合があります。

1 安全運転管理者等選任事業所の交通死亡事故の概要（千葉県内）

番号	発生日時	場 所	路線名	第1当事者	第2当事者	通行目的
1	1月8日（水） 13:01	香取郡東庄町 平山	県道	卸売・小売業40代（女） 普貨	70代（男） 自転車【死亡】	業務
2	2月4日（火） 5:23	袖ヶ浦市 蔵波	市道	サービス業60代（男） 軽乗	70代（女） 歩行者【死亡】	通勤

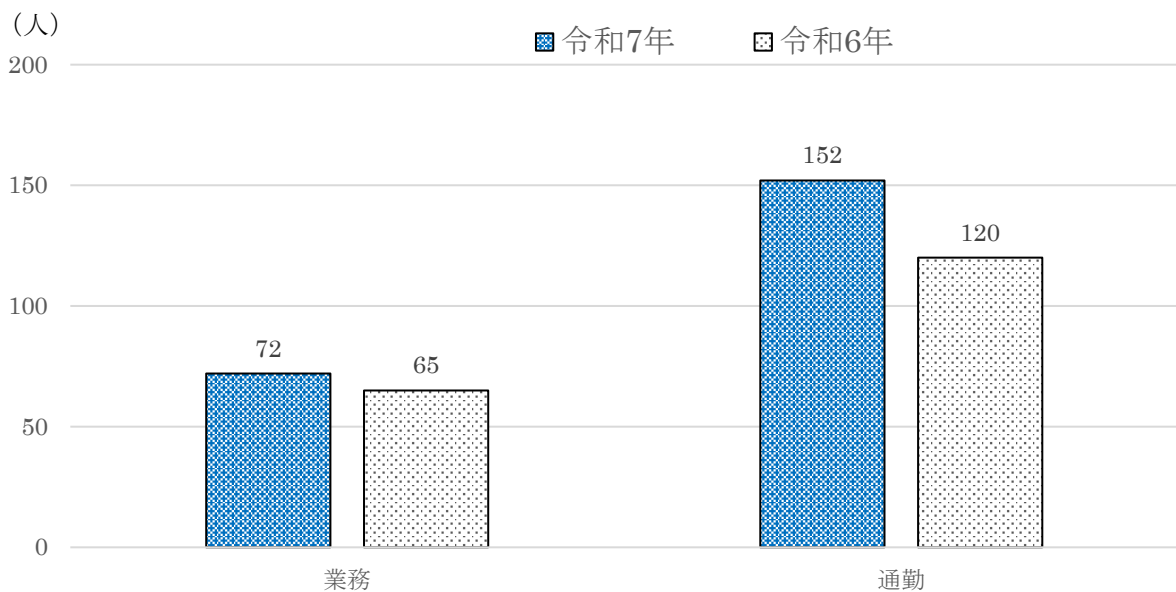
（1）2月末現在で2件の死亡事故が発生しています。犠牲者はいずれも70歳代の高齢者でした。

2 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

		2月中				累 計			
		令和7年	令和6年	増減数	増減率	令和7年	令和6年	増減数	増減率
発生件数		113	101	12	11.9	224	185	39	21.1
昼	日の出1時間後	12	14	-2	-14.3	24	24	0	0.0
	その他昼	55	46	9	19.6	103	88	15	17.0
	日の入1時間前	5	7	-2	-28.6	13	11	2	18.2
	昼 計	72	67	5	7.5	140	123	17	13.8
夜	日の入1時間後	10	8	2	25.0	19	14	5	35.7
	その他夜	25	23	2	8.7	53	42	11	26.2
	日の出1時間前	6	3	3	100.0	12	6	6	100.0
	夜 計	41	34	7	20.6	84	62	22	35.5
死者数		1	1	0	0.0	2	2	0	0.0
負傷者数		135	114	21	18.4	266	208	58	27.9
重傷者数		12	14	-2	-14.3	30	23	7	30.4
軽傷者数		123	100	23	23.0	236	185	51	27.6

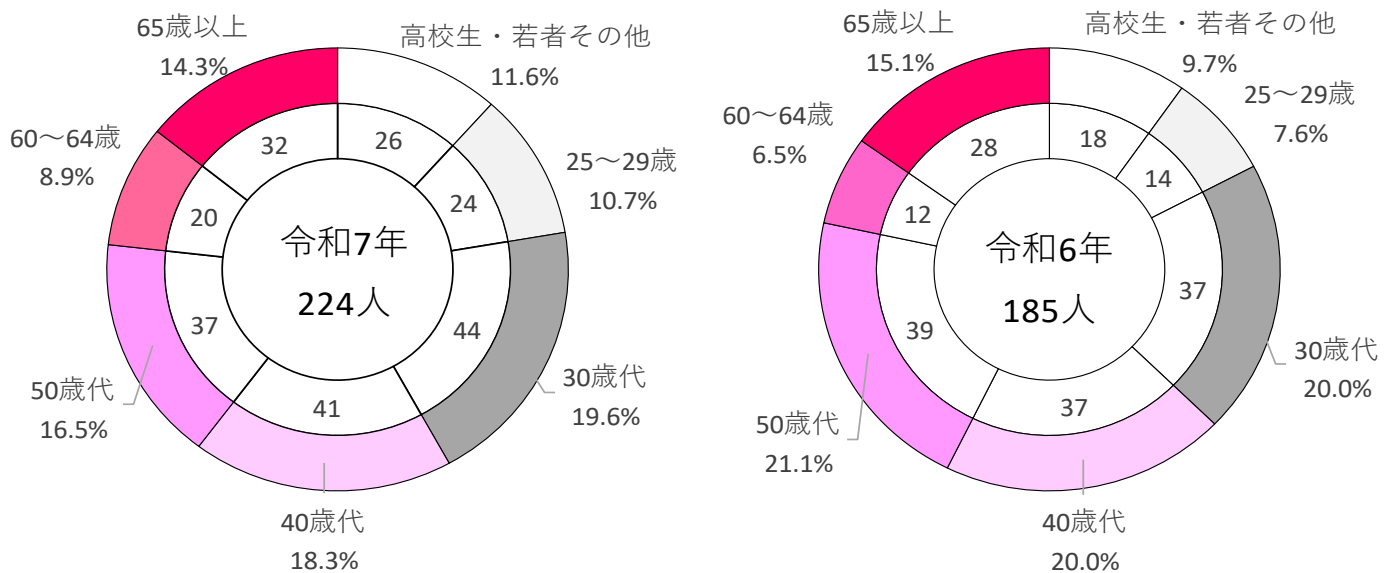
令和7年2月末現在における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、令和6年同期に比べ発生件数が21.1%、負傷者が27.9%増加しています。重傷者数は30人で令和6年同期に比べ30.4%増加しています。

3 第1当事者の運行目的別発生状況



運行目的別では業務中より通勤中の事故の方が多くなっています。マイカー通勤中の交通事故であっても、民法上の「使用者責任」により、雇用主等が賠償責任を負うことがあります。通勤中の安全運転管理にも取り組んでください。

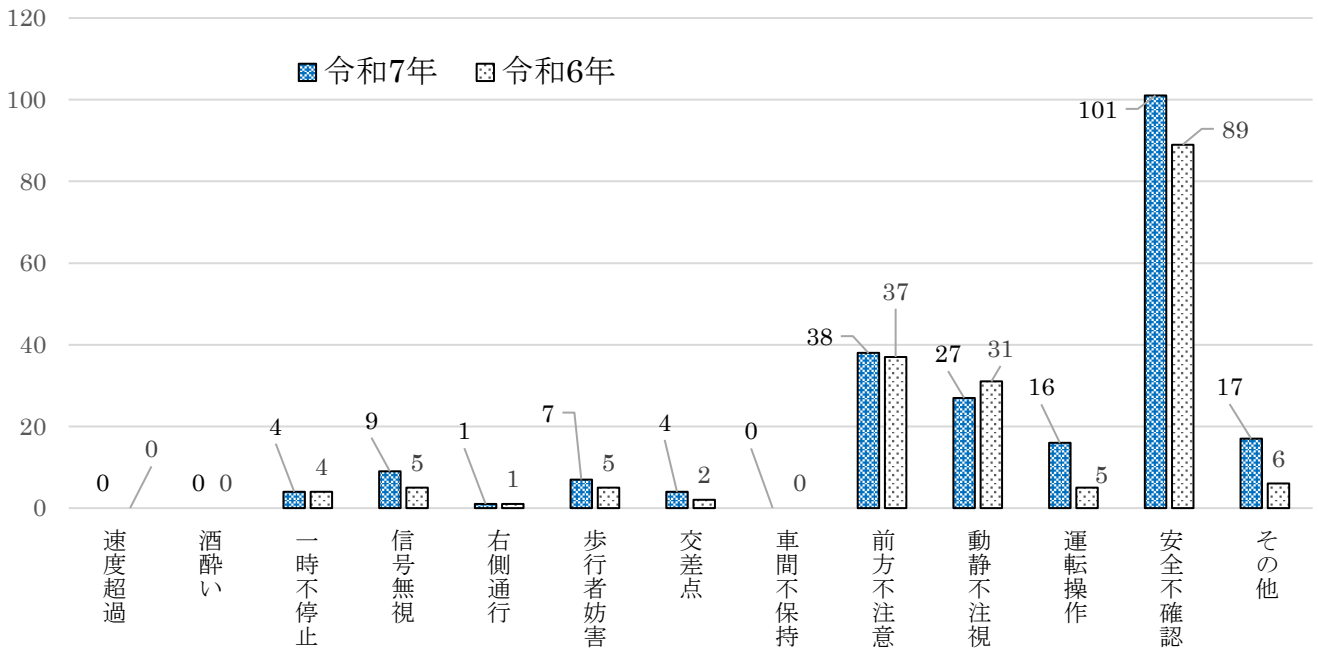
4 第1当事者の年齢層別発生状況



総務省統計局 2021 年の発表によれば 65 歳以上（以下「高齢者」といいます）の就業率は 25.1% です。全体の就業率は 61.7% ですので、就業率を勘案すると高齢者は事故を起こす確率が高いと考えられます。高齢化社会の進展に伴い、事業所の高齢ドライバーも増加していく傾向にありますので、高齢者の特性を踏まえた事故防止対策を推進してください。

5 第1当事者の違反・原因別発生状況

(件)

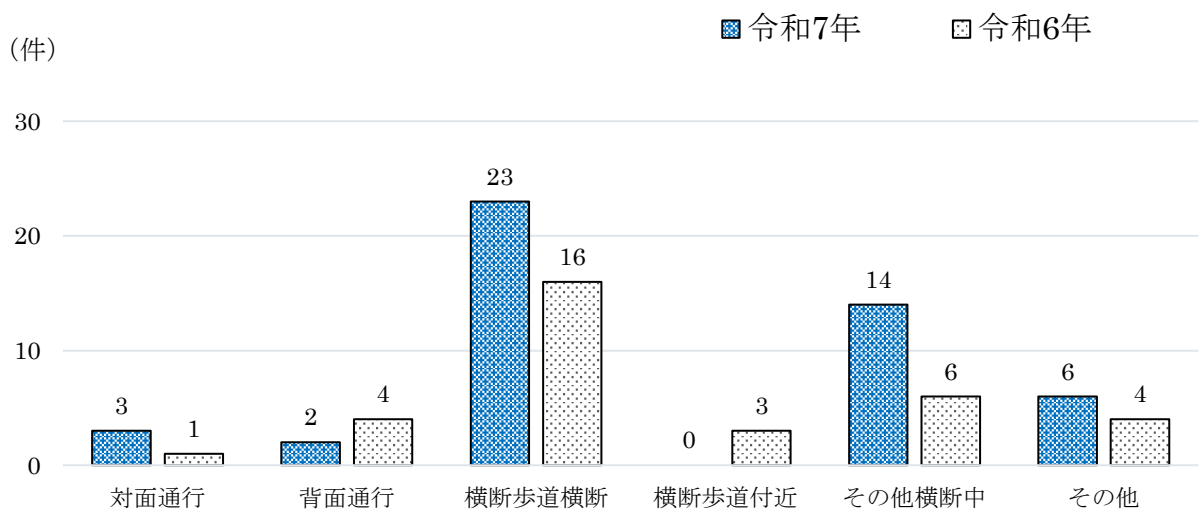


事故原因は、前方不注意、動静不注視、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計 182 件で事故原因の 81.3%を占めています。

注1：酒気帯び運転は事故原因として計上されていません。また、運行目的が買い物やレジャーなどプライベートな場合は計上されていません。

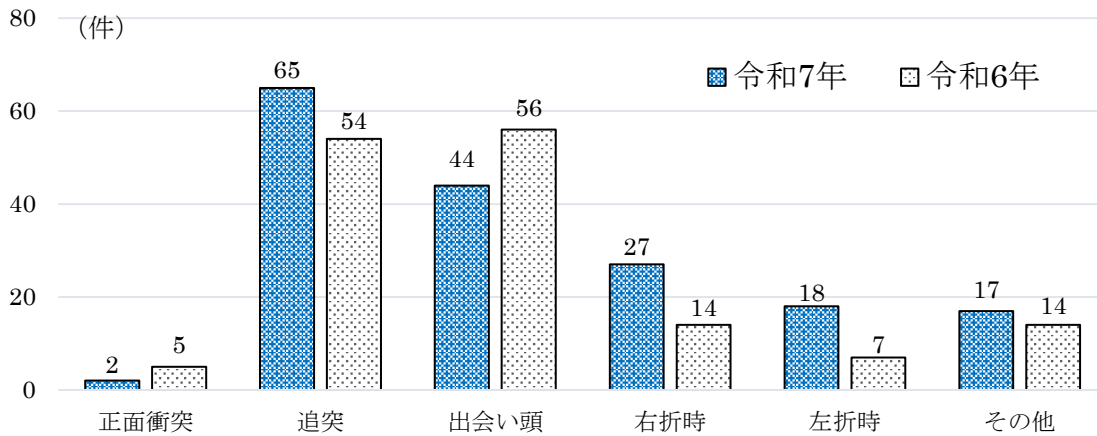
6 事故類型別発生状況

(1) 人対車両 (計 48 件)



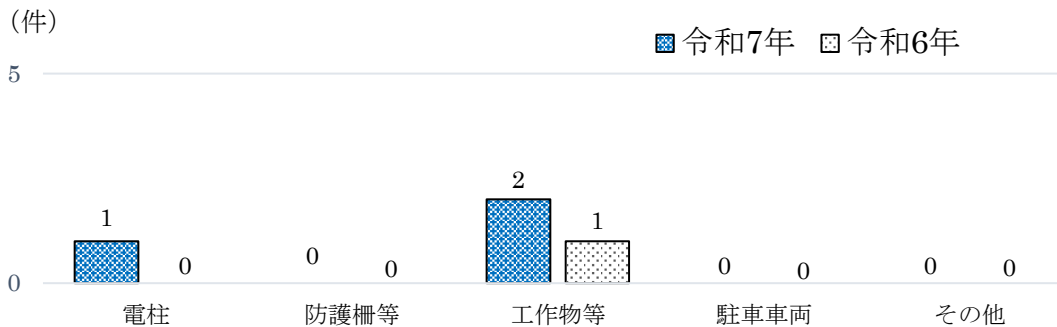
横断歩道横断中の歩行者は最も保護されるべき交通パートナーですが、人対車両事故 48 件中、横断歩道横断中の事故が 23 件 (全事故の 10.3%) と最も多くなっています。右折または左折して横断歩道を通る際に歩行者の発見が遅れて接触する事故が多いので、交差点を右折又は左折する際は歩行者の有無に注意するよう指導してください。

(2) 車両相互 (計 173 件)



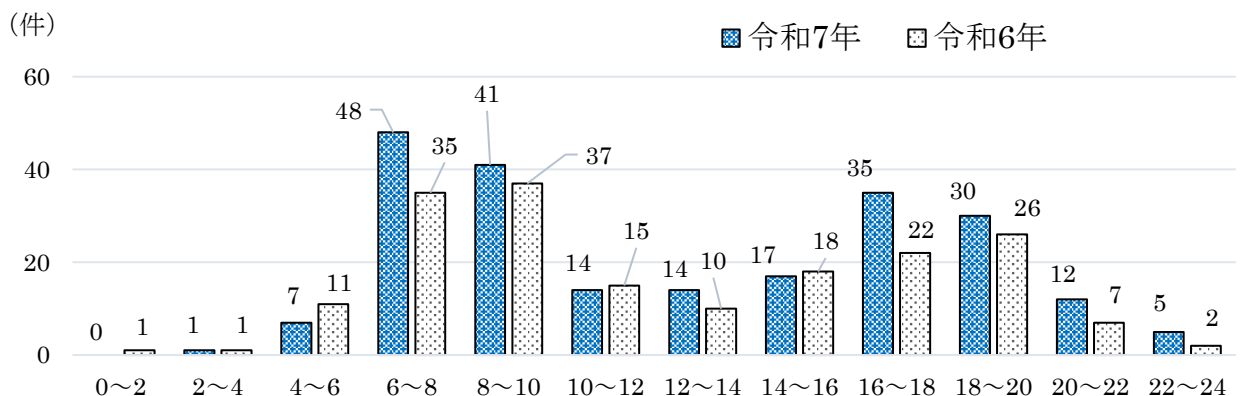
最も多い事故形態は追突 (65 件、全事故の 29.0%、前年比+11 件) でした。次に多かったのは出会い頭 (44 件、同 19.6%、同-12 件) です。出会い頭事故は追突事故に比べ重傷事故になりやすいので、信号機のない交差点では徐行または一時停止と安全確認を確実に実施してください。

(3) 車両単独 (3 件)



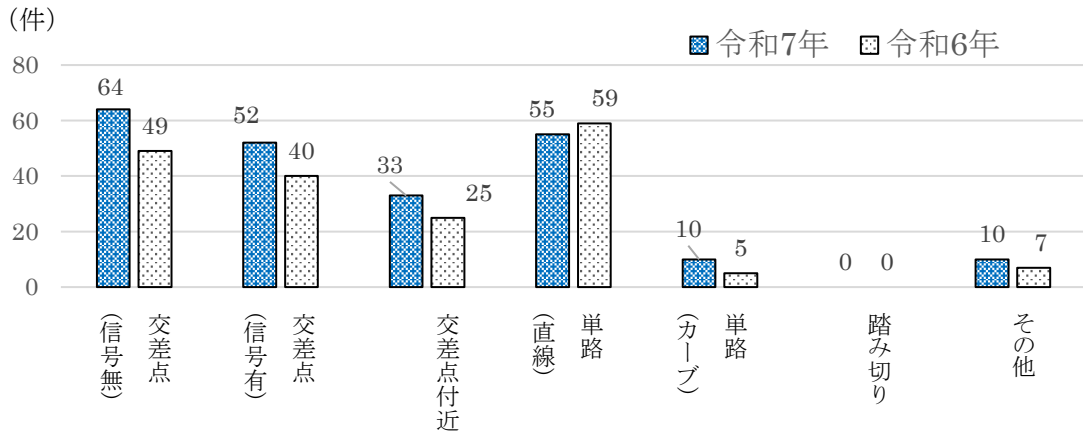
令和7年2月末現在の単独事故は3件です。

7 時間帯別発生状況



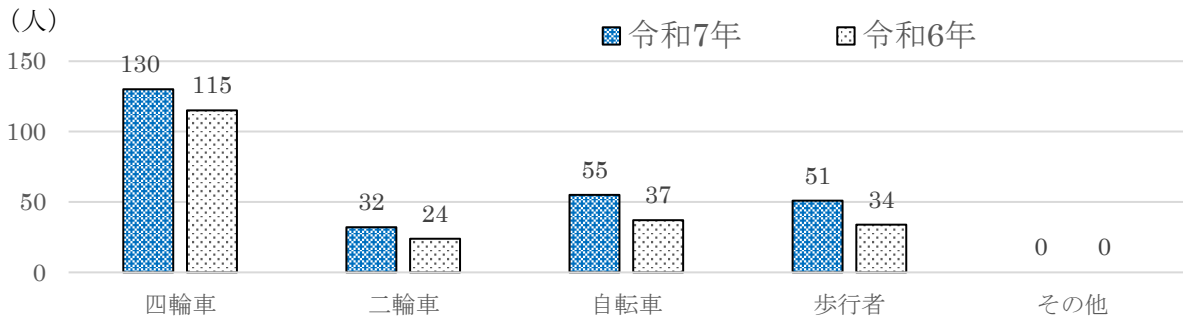
時間帯別で最も多かったのは、8時から10時までの時間帯で48件 (全事故の21.4%、前年比+13件) でした。また、6時から10時までの時間帯に89件 (同39.7%)、16時から20時までの時間帯に65件、(同29.0%)の事故が発生しており、朝夕の通勤時間帯の事故が多くなっています。

8 道路形状別発生状況



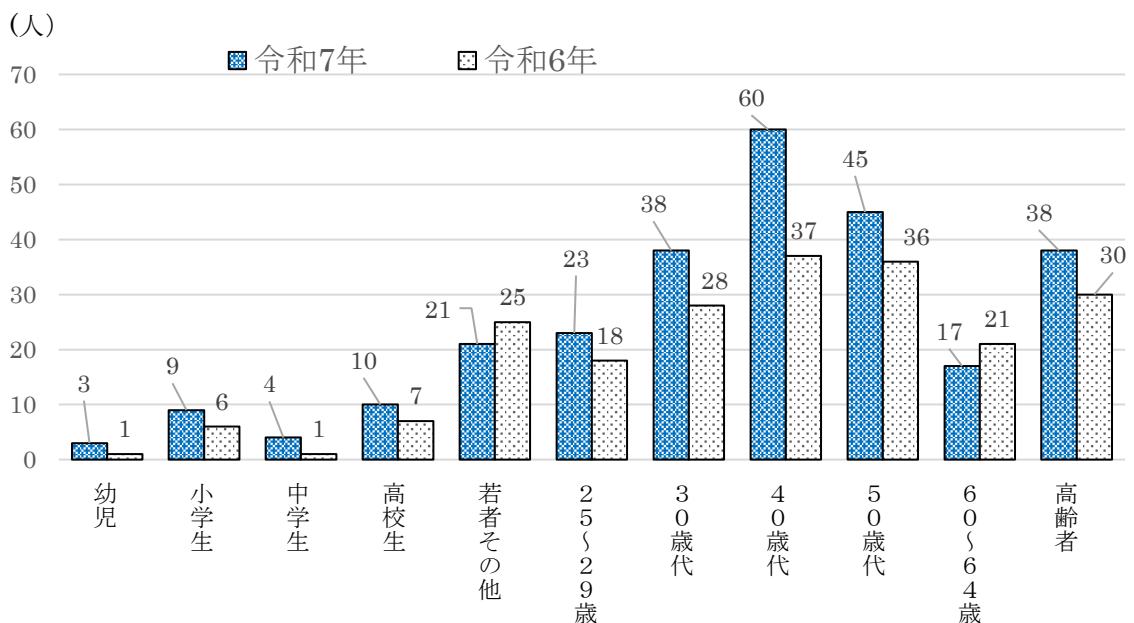
道路形状別では交差点（信号無）が64件と昨年同期と比べ15件増加しています。信号無と信号有の交差点事故の合計は116件で、51.8%を占めています。

9 死傷者の状態別発生状況



四輪車乗車中が最も多く130人（全事故の48.5%、前年比+15人）、次いで自転車の55人（同20.5%、同+18人）でした。

10 死傷者の年齢層別発生状況



死傷者が最も多いのは40歳代の60人（全事故の22.4%、前年比+23人）でした。